

第7号

法遍寺 から大切な 皆様へ

2017年9月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏育成の年

法遍寺・天晴寺支部年間方針

青年部育成 全員で折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏完遂

罪障消滅

② 御講参詣で人材育成

幸福境涯

③ 講中みんなで支部総登山

福德倍増

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)



2017年8月13日 御報恩御講の様子



住職 近藤道正

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山と仰ぎ、日蓮大聖人様の763年に及ぶ正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊を信受し、破邪顕正の折伏精神で布教活動をさせていただいております。

① 講中の皆様へ

大聖人の破邪顕正により当時多くの門下たちが、過酷な迫害によって信心を捨てました。その原因・本質を言えば「臆病」につきます。臆病とは、修行や困難のつきまとう道を避けて一時の楽に逃げようとする心を言います。また厳格な師匠の教えを嫌って、軟弱な生き方を好むことも臆病といえましょう。人間として生まれてきた根本目的、妙法を信仰する根本意義は何なのか。自己の成仏と広宣流布を一大事として「思い切る」所に、暗闇とした人生が一変して寂光の境地として眼前に現れるのです。謗法に引きずられる臆病を払い、思い切る折伏の実践に立ち上がらうではないか。

② 創価学会の皆様へ

大聖人の説く「広宣流布」とは、正当な仏法を弘めることです。第66世日達上人は「日蓮正宗の教義でないものが一閻浮提に広がっても、それは広宣流布ではない」と厳しく仰せられました。大聖人が「愚人にほめられたるは第一の恥なり」(開目抄)と仰せられているように、池田氏はじめ創価学会が世界の要人から称賛されたとしても、その称賛する人たちは仏法に暗い人々であり、正法の護持者ではないのです。過去に戸田会長は「愚人にほむらるるは、智者の恥辱なり。大聖にほむらるるは、一生の名誉なり」と指導しておられました。勲章や称号のために何がなされ、その本質はいつどこにあるかを見定めて下さい。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

正しい仏法は私たちに正しい本尊と修行を教え、身心両面にわたって育成錬磨し、仏の道を成就するよう育てます。いかなる苦難や障害でも乗り越えていける人こそ真に幸せな人なのです。一時しのぎの解決は人生の本質的な幸福につながるものではありません。現在の悩みも、苦悩の原因をよく知って、それに向かう精進がなければ真の解決にならないことを知るべきです。低俗な宗教によって悩みが一時的に解決した場合、努力することを忘れ、一時の神頼みに走るだけだと身についてしまうのです。またその裏には正法を隠蔽しようとする魔の所為があるのです。正しい信仰による真実の歓喜を知って下さい。お待ちしております。